

第4学年 算数科

教科目標

- ① 除法についての理解を深め、適切に用いることができるようにします。また、少数及び分数の意味や表し方についての理解を深め、少数及び分数についての加法及び減法の意味を理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにします。さらに、概数について理解し、目的に応じて用いることができるようにします。
- ② 面積の単位と測定について理解し、図形の面積を求めることができるようにするとともに、角の大きさの単位と測定について理解できるようにします。
- ③ 図形を構成要素及びそれらの位置関係に着目して考察し、平行四辺形やひし形などの平面図形及び直方体などの立体図形について理解できるようにします。
- ④ 数量やその関係を言葉、数、式、図、表、グラフなどに表したり調べたりすることができるようにします。

学習計画

月	単元・題材名	時数	学 習 活 動
4	○ 1億より大きい数を調べよう	7	・ 億や兆の単位について知り、十進位取り記数法についての理解を深め、数を用いる能力を伸ばす。
5	○ 角の大きさの表し方を調べよう	9	・ 角の大きさについて単位と測定の意味を理解し、角の大きさを測定したり角をかいたりできるようにするとともに、角の大きさについて量の感覚を身に付けられるようにする。
6	○ わり算のしかたを考えよう	17	・ 2～3位数を1位数でわる除法計算について理解し、その計算が確実にできるようにするとともに、それを適切に用いる能力を伸ばす。
7	○ 四角形をつくろう	16	・ 直線の位置関係や四角形についての観察や構成などの活動を通して、直線の垂直や平行の関係、台形、平行四辺形、ひし形について理解し、図形についての見方や感覚を豊かにする。
	・ 考える力をのばそう	1	・ 問題の構造を分配や移動に伴う2量の差に着目して、線分図に表して考える。
9	○ 変わり方をグラフに表そう	6	・ 身の回りの事象について、目的に応じて資料を折れ線グラフを用いて表したり、その特徴や傾向を読み取ったりして、統計的な見方を伸ばす。
	○ そろばんで計算しよう	2	・ そろばんの仕組みについての理解を深め、そろばんを用いて、整数や小数の加減計算ができるようにする。
10	○ 小数のしくみを調べよう	10	・ 小数の意味や表し方及びその加減法についての理解を深め、用いることができるようにする。
11	○ わり算の筆算を考えよう	16	・ 整数の除法の計算について理解し、その計算が確実にできるようにするとともに、それを適切に用いる能力を伸ばす。
	・ かたちであそぼう	1	・ メビウスの輪の周囲を1周するように線をひき、どのように線がひかれているか調べる。
	○ 記録を見やすく整理しよう	4	・ 目的に応じて資料を2つの観点から分類整理して表にまとめたり、その特徴を調べたりすることができるようにし、特徴や傾向をとらえる。
	○ 計算のやくそくを調べよう	9	・ 計算の順序に関わるきまりについて理解するとともに、四則に関して成り立つ性質について理解を深め、必要に応じて活用できるようにする。
12	○ 広さを調べよう	11	・ 面積について単位と測定の意味を理解し、面積を計算によって求めることができるようにするとともに、面積についての量感を豊かにする。
	・ 考える力をのばそう	1	・ 大プールと小プールを泳いだ回数と、合計の距離からそれぞれのプールの長さを求める問題を、図を基に考える。
1	○ 分数をくわしく調べよう	10	・ 分数についての理解を深めるとともに、同分母の分数の加法及び減法の意味や計算の仕方を理解し、それらを用いることができるようにする。
	○ どのように変わるかな	5	・ 伴って変わる2つの数量について、それらの関係を表を用いて調べ、式に表して、2つの数量の関係を明らかにする能力を伸ばす。
1	○ およその数の表し方を考えよう	8	・ 概数について理解し、目的に応じて、概数を用いたり四則計算の見積りをしたりすることができるようにする。

2	○ 小数のかけ算とわり算を考えよう ・ どんな計算になるのかな	20	・ 小数×整数、小数÷整数、整数÷整数で商が小数になる場合の計算の意味や計算の仕方について理解し、それらの計算ができるようにするとともに、小数の理解を深めるようにする。
		1	・ 問題文を読み、どのような式になるかを考えて解決する。
3	○ 箱の形を調べよう ・ かたちであそぼう ・ 算数おもしろ旅行 ・ 4年のふくしゅう	10	・ 図形についての観察や構成などの活動を通して、直方体や立方体、平面上や空間のものの位置の表し方について理解し、図形についての見方や感覚を豊かにする。
		2	・ デジタル数字で表された0～9までの数で、さかさまから見ても変わらない数を探す。
		3	・ ガウスが1から100までの数の和を瞬時に求めたという話にふれ、その計算方法を考える。
		6	・ 問題に取り組み、解決する。
授 業 時 数 の 合 計		1 7 5 時 間	

算数科の評価

観 点	評 価 基 準	評 価 方 法
算数への関心・意欲・態度	数理的な事象に関心をもつとともに、知識や技能などの有用さ及び数量や図形の性質や関係を調べたり筋道を立てて考えたりすることのよさに気付き、進んで生活や学習に活用しようとしているかどうかという観点から見ます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習態度 ・ 発表内容、発表の様子 ・ 測定や操作的な活動の様子
数学的な考え方	数量や図形についての基礎的・基本的な知識及び技能の習得や活用を通して、日常の事象について見通しをもち筋道を立てて考え表現したり、そのことから考えを深めたりするなど、数学的な考え方の基礎を身に付けているかどうかという観点から見ます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ノート ・ テスト
数量や図形についての技能	整数、小数及び分数の計算をしたり、図形の面積を求めたり、図形の構成要素の位置関係に着目して構成したり、数量の関係などを表したり調べたりするなどの技能を身に付けているかどうかという観点から見ます。	など総合的に評価します。
数量や図形についての知識・理解	数量や図形についての感覚を豊かにするとともに、整数、小数及び分数の意味と表し方、計算の意味、面積などの単位と測定の意味、図形の意味及び数量の関係などについて理解しているかどうかという観点から見ます。	